

会 議 録

平成19年12月28日調製

審議会等名	平成19年度 第2回 三条市公民館運営審議会		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	平成19年11月29日(木) 午後2時～4時		
開催場所	栄庁舎 大会議室	傍聴者	5 人
		報道機関	な し
出席者氏名	運営審議会委員 (13人) 小林斉子委員長(議長) 鈴木達夫副委員長 丸山宗夫委員 丸山正夫委員 高井 茂委員 小出 昇委員 山井秀榮委員 佐野文雄委員 金子敏行委員 小柳智秀委員 近藤喜美子委員 野崎信雄委員 米山文子委員		
	公民館職員 (16人) 宗村中央公民館長 村田嵐南公民館長 藤崎井栗公民館長 鈴木本成寺公民館長 大坂大崎公民館長 石田大島公民館長 高波栄公民館長 佐藤下田公民館長 長橋館長補佐(中央) 麦倉副参事(中央) 川瀬囑託員(井栗) 田中囑託員(本成寺) 小林囑託員(大崎) 渡辺囑託員(大島) 木村館長補佐(栄) 蝶名林副参事(下田)		
議 題	(1) 報告事項		
	ア 組織機構の見直しについて		
	イ 平成19年度各種講座等の実施状況について(5～11月分)		
	ウ 平成19年度後期事業計画(案)について		
	(2) 協議事項		
	ア 平成20年度公民館運営計画(案)について		
	イ その他		
会議内容	別紙のとおり		

宗村中央公民館長	<p>定刻でございますので、これより会議を始めさせていただきます。</p> <p>本日はお忙しい中、会議にご参集をいただきありがとうございます。</p> <p>本日は、市民の代表の皆さんが運営をしている審議会を傍聴したい、として「女性のためのステップアップ講座」に参加されている方々の傍聴がありますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>これからは、三条市公民館運営審議会規則に基づきまして、小林委員長さんから議長となり、会議を進めていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
小林委員長	<p>これより、平成19年度第2回三条市公民館運営審議会を開催します。</p> <p>本日の審議会は、委員の過半数以上の出席ですので、成立することを報告いたします。</p> <p>始まる前に一言ごあいさつをさせていただきます。</p> <p>審議会委員の皆様にも各公民館から文化祭の案内をいただいたことと思います。私も1か所ではございますが拝見させていただきました。各講座の方々の力作揃いでありましたが、公民館の職員のご労苦を垣間見た思いでございました。委員の皆様も会場に足を運ばれたと思いますが、事あるごとに公民館に足を向けて、私達は公民館の職員の労苦に報いるようになりたいと思っております。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議題に沿って議事を進めます。</p> <p>はじめに「議題（1）報告事項ア、組織機構の見直しについて」説明をお願いします。</p>
宗村中央公民館長	<p>—— 資料1「組織機構の見直しについて」—— に基づき、説明</p>
小林委員長	<p>組織機構の見直しについて、質問ございませんか。</p> <p>—— しばらく声なし ——</p>
小林委員長	<p>しばらくして質問がないようですので、次に進ませていただきます。</p> <p>平成19年度各種講座等の実施状況について説明をお願いします。</p>
長橋館長補佐 (中央公民館)	<p>—— 資料冊子「平成19年度各種講座等の実施状況」—— に基づき、資料全体について総括的に説明</p> <p>—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 ——</p> <p>(通学合宿、家庭教育講座「子育てスクール(シリーズ)」、パソコン講座、陶芸入門講座)</p>
小林委員長	<p>説明に対する質問は、各公民館終了後一括して受付いたしますので、よろしくお願いいたします。</p>
村田嵐南公民館長	<p>—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 ——</p> <p>(家庭教育講座「子育てスクール」、ふるさと講座)</p>
川瀬囑託員 (井栗公民館)	<p>—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 ——</p> <p>(高齢者講座、パソコン教室、旭地区体育祭)</p>
田中囑託員 (本成寺公民館)	<p>—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 ——</p> <p>(郷土料理教室(笹団子づくり、ひこぜん焼き・豆腐づくり・蒟蒻づくり))</p>

<p>小林囑託員 (大崎公民館)</p>	<p>—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 —— (大崎公民館：高齢者教室「長寿サロン」、体育レクリエーション) (保内分館：チャレンジ教室、ふるさと発見教室)</p>
<p>渡辺囑託員 (大島公民館)</p>	<p>—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 —— (青少年教育「ふしぎ！科学実験教室」、「チャレンジクラブ」、家庭教育講座「笑顔で子育て講座」、男性料理教室)</p>
<p>木村館長補佐 (栄公民館)</p>	<p>—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 —— (ジュニア夏休みパス、ふるさと歴史探訪、栄公民館展、ウォークラリー大会)</p>
<p>蝶名林副参事 (下田公民館) 小林委員長 丸山(正)委員</p>	<p>—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 —— (通学合宿、生活講座、外国語(中国語)教室、下田文化祭)</p> <p>各公民館より説明をいただきました。これより、質問、ご意見を受け付けます。全般的なことについてですが、先回の審議会で、講座に対しての満足度のアンケートをとっていただきたいと要望しました。今回の資料を見て、そのことが取り入れられ、受講者の気持ち伝わってきて親しみを感じられました。公民館の方の努力に感謝します。</p>
<p>宗村中央公民館長</p>	<p>意見としては、例えば満足度は、5段階評価、4・3段階評価とありますが、いずれかに統一したほうが良いと思います。それから、今回の資料は非常に多いので読むのに時間がかかりました。満足度と講座の出席率を見るとある程度事業成果の想定ができます。講座名・人数・満足度・出席率などを記載した一覧表とか要約版を作っていただくことも検討していただきたい。また、「満足」、「まあまあ満足」、「やや不満」、「不満」、「どちらともいえない」、とあった場合、「どちらともいえない」が3番目に書かれるのと5番目に書かれるのでは意味が違ってきます。同じ意味の言葉で統一をしていただきたいと思います。</p>
<p>宗村中央公民館長</p>	<p>アンケートにつきましては、基本的に全事業について取ってもらうように各館にお願いしました。その結果についてですが、この資料を作っている最中に、確かに膨大で次回は整理をした方がよいと思っておりました。</p> <p>丸山委員からいいご指摘をいただいたので、統一や一覧表にできるところを検討していきたいと思っております。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>私たち委員の読みやすさだけでなく、講座を受けている方も、アンケートが書きやすくなると思いますので工夫をしていただきたいと思っております。</p>
<p>金子委員</p>	<p>スポーツ関係の事業が多いが、傷害保険やスポーツ保険の加入はどうか。それから、地震で中止になった事業がありましたが、安全性のためやむを得ないのかもしれませんが、代替的な検討はあったのですか。</p>
<p>宗村中央公民館長</p>	<p>保険については、合併時から公民館事業の総合補償保険に入っており、スポーツも含め全ての事業に対応しています。スポーツ関係の事業では年間この保険を結構使われることがあります。</p> <p>地震の行事の中止については、それぞれの館の考えで状況を踏まえて対応させていただきました。個別に説明が必要ということであれば、その館で説明いたします。</p>

金子委員 木村館長補佐	<p>栄のジュニアリーダー研修会の中止についてはどうでしたか。</p> <p>当時まだ余震が続いており、道路状況も完全ではありませんでした。公民館と小学校長の意見を踏まえ総合的に判断して中止としました。</p> <p>ある小学校の先生から、何とかならないかという意見もありましたが、100人以上の規模で1年以上前からの予約や、ボランティアやPTA役員などの協力で運営しているので、代替えは難しかったということをご理解ください。</p>
米山委員	<p>通学合宿はいい事業ですが、時期的に各種スポーツ大会とぶつかります。高学年を対象にしたものは、少し時期をずらしてやると参加しやすいので、時期について検討していただきたい。</p>
宗村中央公民館長	<p>この事業については、事前に時期も含め関係者からいろいろ意見をいただきました。時期に関しては、学校の協力が一番必要であり、昨年暮れから事業の説明をして意見を聴き、学校行事の隙間を縫いながら実施させていただきました。今回実施してみて、その結果についてまた学校の意見も伺うので、時期については再度検討していきたいと思います。</p>
小林委員長	<p>米山委員は栄地区ですから、定員に余裕があったようですので、希望すれば入れる状況だったのではないですか。</p>
米山委員	<p>子どもの大会があり、今回は申し込みをしませんでした。学校行事やスポーツ大会など土曜日に大会が結構あります。今、お聞きして難しいとは思いますが検討していただきたいと思います。</p>
小林委員長	<p>いろいろな事情で時期的には難しいと思いますが、定員30人の中でやれるような体制が整えられるよう、また、中央公民館では初めての取り組みであることから、いろいろな問題点もあったことと思いますが、総括して次につなげていただきたいと思います。</p>
山井委員	<p>通学合宿は、下田地区ではうまくやっていたようですが、盛り上がるよう、PRをうまくしたほうがいいのではないのでしょうか。</p>
佐野委員	<p>案内をいただいた作品展や芸能発表会に行ってみました。ゲートボールやバレーボール大会など男女の参加がありますが、作品展等は女性が圧倒的に多いようです。男性の参加を増やす工夫はないのでしょうか。</p>
小林委員長	<p>何処に行ってもそのような声が聞こえてくるようですが、佐野委員からも率先して参加していただいて、一人でも増やすようにお仲間を増やしていただくのもひとつの方法でないかと思いますので、よろしくお願いします。</p>
丸山（正）委員	<p>子どもの体験事業が多いが、そのアンケートの中で、数字は少ないが気になることがあります。「楽しかったか」の質問に「無回答」や、「友達がいっぱいできたか」、「楽しかったですか」の質問に「いいえ」の回答があります。皆になじめないのか、仲間はずれがあったのか心配しています。引率している方が、どのように感じているのでしょうか。</p>
宗村中央公民館長	<p>今回、通学合宿で子ども達と過ごして感じたことは、今の子どもたちは非常にデリケートで、社会環境の中で昔と違ってきています。引率する職員との年の差などで、子どもの心を捉えきれていないのかもしれないかもしれません。</p> <p>事業の中で子どものトラブルはあります。それを、時間をかけて心をときほぐ</p>

	<p>して楽しくするには時間が少ないのではないかと思います。運営の仕方など、工夫の仕方もあると思います。</p> <p>貴重な意見をいただいたので、持ち帰って検討させていただきたいと思いません。</p>
丸山（正）委員	<p>ふれあい自然体験のアンケートで、「何が楽しかったか」でキャンドルセレモニーが56人70%、「やってみたかったこと」にキャンプファイアーの意見が多かったようです。できるものであれば、キャンプファイアーを取り入れた方がいいのではないのでしょうか。</p>
宗村中央公民館長	<p>キャンプファイアーを予定していましたが、雨でキャンドルセレモニーに変わりました。できれば、キャンプファイアーは実施していきたいと思いません。</p>
鈴木副委員長	<p>下田のカヌー体験教室については、大谷ダムが会場になっていました。下田には、塩野渚というカヌー専用の場所がありますが、そこを利用しなかった理由はなぜですか。</p>
蝶名林副参事	<p>カヌー体験教室は、小中学生の初心者対象のため、塩野渚は川の流れが激しすぎるので、安全性を考慮してダムで実施しました。</p>
小林委員長	<p>ほかにありませんか。</p> <p>ないようですので、次に移らせていただきます。</p>
長橋館長補佐	<p>平成19年度後期事業計画（案）について説明をお願いします。</p> <p>—— 資料3「平成19年度後期事業計画（案）」——に基づき、全体的な総括について説明</p> <p>（個別説明なし）</p>
小林委員長	<p>ご意見等がありますか。ないようであれば、協議事項に入ります。</p> <p>平成20年度公民館運営計画（案）について、説明をお願いします。</p>
宗村中央公民館長	<p>—— 資料4「平成20年度公民館運営計画（案）」——に基づき、公民館全体の案として説明</p>
小林委員長	<p>平成20年度公民館運営計画の基本方針、運営方針について、ご意見、ご質問があれば、受け付けます。</p>
丸山（正）委員	<p>平成19年度からみて、特にここがどうというところがあれば、補足してください。</p>
宗村中央公民館長	<p>年によって公民館活動がガラッと変わることは基本的にはありません。ただ、力を入れていかなければならないこと、あるいは今までの見直しをすることは当然あります。昨年この会議の中でも折にふれいろいろご意見をいただきました。例えば、公民館がいろいろな事業に手を広げすぎる、もっと事業を絞り込み、内容の濃いものにしてやったほうが良い、などといった意見です。そういったことを、例えば「公民館が取り組む事業の優先順位とその内容・実施のあり方の見直しを進める」といったことの表現で基本方針の最後の部分に記載させていただきましたので、ご了解をいただければ更に20年度進めていきたいと思いません。</p> <p>それから、運営方針では、子どもの体験学習と家庭教育はそれぞれ大事で、分かれるものと考えられるので分けさせてもらいました。それと、公民館の利便性の向上について、例えば使用申込みができる期間の延長なども重点的に考えてい</p>

<p>小出委員</p>	<p>きたいと思います。</p> <p>公民館の利便性の向上に関連して、現在井栗の集会所は新築中のため、集落の集會に井栗公民館を利用したいが、なかなか空きがなく利用できません。近くの保内分館を利用したいが利用料がかかり、そばにあっても使えません。何か方法はないのでしょうか。</p>
<p>宗村中央公民館長</p>	<p>利用料については、経営戦略プログラムの中に使用料・手数料の見直しがあり、その中で検討される予定です。</p> <p>現状としては、旧三条市の公民館の使用は料金設定がありますが、旧栄・下田は料金設定がそもそもありません。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>また、旧三条市の地区館でも、昭和20年代の大合併の当時、地区により料金設定が違っていたことから「従来どおりにする」という経緯で、そのため、地区住民がその地区の公民館を使用する場合は無料、地区以外の住民が公民館を利用する場合は料金がかかる、となっていて、それがずっと引き継がれ、同じ市民が使う場合でも取り扱いが異なっています。</p> <p>ただ、同じ市民である以上どこの公民館を使っても同じにならないといけないと思っています。財務課でどのように検討されるかは不明ですが、同じ扱いになるのではないかと思います。今の段階で具体的にはまだ示すことはできませんが、ご了承いただきたいと思います。</p>
<p>宗村中央公民館長</p>	<p>確認ですが、行政機構の見直しで、生涯学習課、公民館は市長部局に移りますが、館長の説明で、社会教育法により公民館活動に変化はないと言われました。運営方針の中で「子どもの体験学習・子育て事業」とありますが、妊娠期から青年期は全て子育て支援課が網羅するという位置づけの中で、説明を受けた経緯があります。先ほどの説明では、公民館事業に変化がないという中で「子ども体験学習・子育て事業」は公民館でやるという前提は理解できるが、その辺のすり合わせ、また、市民は混乱をきたすことはおきないのか、この辺はこれからだと思いますが、きちんと整理して取り組んでいただきたい。そうでないと運営方針に基づく「子ども体験事業・子育て事業」はどこかに浮いてしまうことが懸念されます。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>機構改革で市長部局との連携はやりやすくなると思います。反面、現在の子育て支援室は教育委員会に移ることで、いい部分と懸念される部分がでてきます。ただ、いずれにしても、子どもの体験学習は子どもの発達面、将来を考えても非常に大事であると考えますので、公民館はバックアップをしていきたいと思っています。</p> <p>委員長のご指摘のとおり、すり合わせをきちんとやっていきたいと思っています。</p>
<p>小出委員</p>	<p>ほかにご意見はありませんか。ないようですので、それでは、公民館の全体的なことについてご意見を受けます。</p>
<p>宗村中央公民館長</p>	<p>先回のこの運営審議会では話のあった公民館の長期講座、趣味の講座の改善についてはどうなっているのでしょうか。</p> <p>昨年度答申をいただいた結果を受け、第1回の運営審議会では公民館の考え方の案を示しました。現在、その案をもとに講師の方々との話し合いをしている最中</p>

	<p>で、その中の意見として、例えば講座の期間を2年、長くとも3年、として示しましたが、年数が短いという方がおられます。従ってこれから新たに始める講座は別として、今ある講座期間については期間をもう少し緩めたほうがいいのかな、という感じです。まだ、最終的にまとまっていませんが、今の状況です。そのため、来年度4月からの実施は難しい状況で、できれば21年度、遅くても22年度から実施と思っています。</p>
小柳委員	<p>組織機構の見直しは、縦割りの脱却、関係機関の連携だと思いますが、中央公民館と各地区館の事業がダブっているのが多々みられます。たとえば、キャンプなど参加者が食い合うことのないようにしてほしいと思います。公民館行事だけでなく、PTAや各団体も含め、連絡を密にして計画していただきたいと思います。</p>
小林委員長	<p>中央公民館と地区館との調整不足があったというご指摘ですが、次年度に反映させてください。</p>
近藤委員	<p>高齢者や小学生の講座はかなりあります。できれば、中・高校生の事業もやっていただきたいと思います。</p>
小林委員長	<p>次年度に反映させてください。</p>
野崎委員	<p>次年度、家庭教育に力を入れていくということですが、家庭教育講座は今と昔の考え方の開きがあり大事であると思います。出前講座をしてもらいたいですが、学校は年度行事があります。それが決まる前に対応をしていただきたいと思います。これは学校だけでなく、幼稚園・保育所も含めてお願いしたい。</p>
小林委員長	<p>いろいろなヒントと示唆を与えていただきました。次に反映させてください。</p>
高井委員	<p>公民館活動に参加した人は、何か一つの精神があってその精神を習得するために参加しているのでしょうか。そうであれば、年齢に関係なく共通事項があり、まちづくりにつながるのではないのでしょうか。</p>
宗村中央公民館長	<p>精神という捉え方がよくわかりませんが、もし講座などの中に何か精神を感じ、何かを得たい、ということであれば、その事業を実施する目的を示して、それに興味を示した人が参加する。私どもはそれをアンケート結果によって目的が達成されたのかを判断させていただく。年代や対象者によってどういうところに興味を示すか検討し、事業を進めていきたいと思っています。</p>
高井委員	<p>年齢に関係なく、目標を定め、市民づくりになるような活動ができればいいなと思います。例えば、一つの精神を引き継ぐことにより上下関係がつながっている。こういうことができれば、同じ心で指導でき、まちづくりになると思います。</p>
丸山（宗）委員	<p>中央公民館によく行きますが、市民の方がいろいろなことを言って行きます。大変だと思います。今後も市民サービスをやっていただきたい。</p>
小林委員長	<p>いろいろなお意見ありがとうございました。ほかにありませんか。</p>
長橋館長補佐	<p>ほかにないようですので、事務局から連絡事項がありましたらお願いします。</p>
	<p>次回の平成19年度第3回公民館運営審議会の開催は、委員長と相談し、来年3月中旬から下旬の予定で開催させていただきたい。内容は、今回の運営審議会未報告の平成19年度事業実施報告及び平成20年度事業計画案です。</p>
小林委員長	<p>本日の公民館運営審議会の記録については、事務局が作成し、私と中央公民館</p>

鈴木副委員長	<p>長で確認し、会議録として調整のうえで、教育委員会と市の情報公開コーナーへ提出及びホームページへ掲載しますので、ご了承ください。</p> <p>最後に、鈴木副委員長から閉会のあいさつをお願いします。</p> <p>本日は、ご多忙のところご出席いただきありがとうございました。</p> <p>また今ほどは、慎重なご審議をいただきありがとうございました。</p> <p>平成19年度後期の事業につきましては、審議いただいたように、多くの市民の方の参加ができますようよろしくをお願いします。</p> <p>以上簡単ではありますが、閉会のあいさつといたします。本日はありがとうございました。</p>
--------	---